

令和元年 12 月 13 日 (金曜日)

道路や河川など公共インフラを所管する国土交通省OBが共同執筆した『荒廃する日本 これでもいいのか ジャパン・インフラ』（日経コンストラクション編）が出版された。執筆を呼び掛けた足立敏之自民党参院議員は「日本のインフラの整備水準は世界レベルになり」と課題を指摘。地球温暖化の影響で自然災害の被害規模が大きくなっている状況を踏まえ、「今までの水準や目標のままでは安全度を下げることになる」と訴えた。

足立議員『荒廃する日本』

国交省OBと共同執筆 日本のインフラ再生を

新著では▽道路▽治水・富なデータに基づき分析。利水▽下水道▽港湾▽都市安全・安心な生活に加え、の5分野を取り上げ、国日本の経済成長という将来内外のインフラの状況を豊像を実現するためのインフラ投資の必然性を説いた。



「荒廃する日本」と警鐘を鳴らす足立氏。A4判192ページ。定価2000円＋税。日経BP社発行

足立氏は「日本のインフラは『慨成』する前に老朽化してきている。老朽化対策のタイミングで質、水準を高める。日本のインフラ再生に取り組まなければいけない」と力を込める。